

社会福祉法人ゆいのもり福祉協会設立

ご協力ありがとうございました

9月30日東京都知事の認可を受け、法人の登記も終了し、晴れて社会福祉法人を取得しました。これも、ひとえに、皆様のご支援とご協力の賜物と感謝いたします。

今後の予定としては、10月には授産施設建設を開始し、来年3月には、ちょっと素敵なパン屋とレストランとしてお目見えます。そこでは、誰もが、安心して、ゆっくりと時を過ごせる空間にしたいと思います。

また、授産施設として次の点を大事にします。

- ①能力と希望に応じて働けるような作業内容を準備します。
- ②障害者が住みやすい社会をつくるためにコミュニティの一員として協力します。
- ③当事者の運営参加を保証し、当事者活動を支援します。

そして、将来は、グループホーム・福祉ホームなども展開し、精神障害を持つ方々への支援の場を広げていきたいと思っております。



ゆいのもり福祉協会設立募金のご報告

233名様より4,623,015円(2002年10月3日現在)のご寄付をいただいております。施設建設資金として大切にさせていただきます。ありがとうございました。

いい味だしてる ゆいのもり社 メンバー投稿 第4弾 !!

岡崎 幸治



僕は、青梅の成木にある、坂本病院のデイケアに通っている、47才の中年の、おやじである。デイケアには、約1年半ぐらい、通っている。そろそろ、仕事に、つこうと思っていたところ、デイケアのスタッフの人が、作業所へ見学につれていった。そのえんで、昭島にある、ゆいのもり社という、作業所に浅川さんのさそいで通い始めました。

仕事は、ひさしぶり、さいしょは、不安いっぱいでした。でも僕はスポーツが、すきでスポーツを、つうじて、メンバーである、片野さんと友達になることが、出き、保健福祉センターの清掃の仕事につきました。片野さんが、仕事のことをいろいろ、おしえてくれたので、ほんとうにたすかりました。

9月6日に多摩地区交流バレーボール大会にも出て、結果は2勝1敗でしたけど、とてもいい思い出になりました。

僕の目標は、自立、そして生活のリズムを安定することです。僕も坂本病院のデイケアのスタッフもとても感しゃしています。それとどうように、ゆいのもり社の、スタッフにもとても、感謝しています。あとは、努力・根気でガンバリたいと思います。

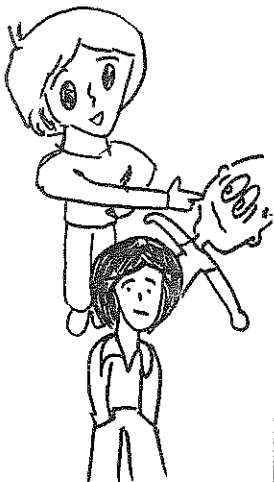
「あいぽっく」の清掃一年

河童生

昭島市民なら誰でも知っているだろうと、思う、「あいぽっく」と謂う四階建ての素晴らしい福祉センターが、一年くらい前に建った。故に、僕等も最う一年くらい「あいぽっく」の清掃をしているのだ。

初めての「あいぽっく」に足を踏み入れた時、「こんなに大きな建物を如何やって清掃するのか」と、驚異の念にかられた。職員が指導してくれて、メンバーも意見を出し合い、試行錯誤為乍ら、僕、個人的には、軌道にのってきたと思う。唯、数多の部屋があり、部屋の名を未だ、全て覚えられない（是は、僕だけだろうか）。

是から先、いくつもの試練が待受けているだろうが、職員、パートさんと力を合せて、挫けずに、皆で頑張ろうと思っている。

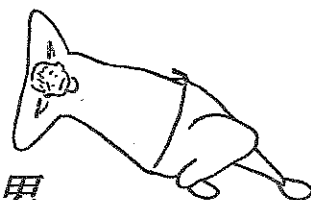
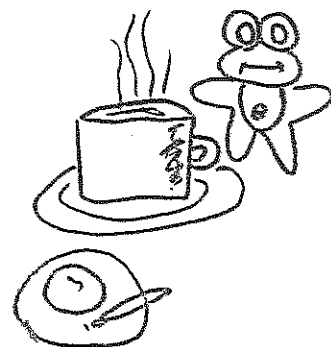
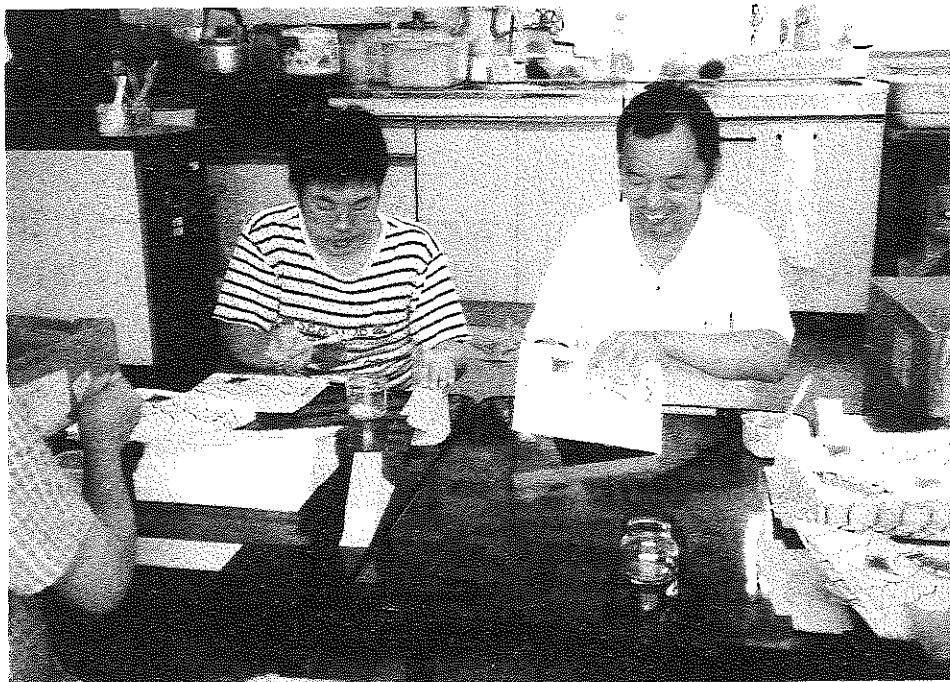


野島

青梅市にある東京海道病院を退院して 早9ヶ月を過ぎようとしています。

社会人の1年生としてグループホームでの生活がはじまりました。最初は何事も発見と失敗の毎日では私にはこれではグループホームのメンバーやゆいのもり社のメンバーの人達に付いて行けるかしらと思いつつ日々が過ぎて行きました。24才で発病以来挫折して生きている現在私は少なくとも喜怒哀楽の世界に生きている事は確かである事に間違いのない様だ。グループホームでの生活は毎日が快適である。1人1部屋のグループホームは8畳の床冷暖房付台所、トイレ、バスと完備良好である。まさにリッチな生活のなかで私は社会人と肩がならなくても良い後に付いて行ける様な社会人を目指しております、条件の良いグループホームでの生活のなかで協力して頂いている皆様方の期待に応えられる様になれば素晴らしい。

ゆいのもり社での紙袋の作業も短時間ではあるが月、水、金、と週に3日ある作業が楽しく出来る様になりました。1袋1袋心を込めての作業も私達メンバーの心が1つになりお互いに助け合って成り立っております、人間1人では生きて行けない事を実感する。



「哀れな私」

河童男

私は統合失調症になって約10年経ちます。発病してすぐ半年間入院していた時は、手がふるえて一人で買物すら出来ませんでした。ゆいのもり社に通っている現在も様々な病気の症状に苦しみ、私自身は日本一不幸な男だと思っています。若い時は、まともに働いていなかったので年金ももらえず、生活保護で細々と貧困人生を送っています。作業をすれば頭が変になり狂い死ぬてはと感ずる事が頻繁にありますし、疲れるのでアパートで一人寂しく発泡酒を飲む生活が続いています。アル中、再入院がいつ現実になるかと、おどおどしながら30代半ばの今でも女性とつきあえず、一般就職も無理で本当に発狂しそうです。近所の人々も私の悪口を言っているような気が、どうしてもして辛いです。誰か助けて下さい。

チェック
クイズ

さてこれを読んであなたの感想に一番近いものはどれですか。それによって、ゆいのもり社とあなたの相性がわかります!!

- ① 悲しすぎる。同情で涙がかれてしまいそう。
→ やさしさゆえ、相手の感情にまきこまれがちのあなたには、ゆいのもり社はちょっと無理かも。もう少し人生修業をつみましょう。
- ② 何か変だ。ちょっとムツとした。
→ クールな知性派のあなた。長時間ゆいのもり社にいと疲れを感じるでしょう。
- ③ すばらしい創作の才能に関心した。ぜひ、このフィクション作家と発泡酒をのみ語り合いたい。
→ おめでとうございます!あなたは、すぐにでもゆいのもり社にとけこめるでしょう。





追悼 河野トミ子さん

今年の6月、食工房の仲間の河野トミ子さんが亡くなりました。64歳でした。

河野さんは一人暮らしで内科の病気も治療中でした。河野さんにとってやっとの思いで続けてきた一人暮らしだったと推察します。このような生きにくさを抱えて地域での生活を希望する河野さんへの支えは制度・その他不足点が多くあったことを感じさせます。生前はメンバー中最高齢で体も悪く、近頃は作業にほとんど参加されていませんでしたが、食工房のアイドル的存在でいつも笑顔でみんなを見守っておられました。そんな河野さんを偲んでメンバーが彼女との思い出などを書きました。

河野さんの思い出

私が河野さんと会ってから7・8年前になると思います。河野さんも旅行が好きみたいです。私の父が使用していたつえがあつたのであげたら、旅行のかえりに私にびわのおみやげをくれました。おいしかったです。他にもお昼を二人でいっしょに食べに行ったこともあります。他にはまだまだ若いのに身体も悪くて大変だったと思います。ゆかいでやさしい人でした。河野さん、やすらかにねむりください。

R・Tより

河野さんへ

河野さんとは2年半ぐらいお世話になりました。はじめて食工房見学に来たときに「ずいぶんやさしそうだなあ。」と思いました。

今までは一泊旅行やイチゴ狩りやサクランボ狩りなど数多くのご参加があつたようですね。特に印象に強いのはイチゴ狩りでおいしそうに食べていたことでした。あとは一泊旅行ではときどき話をしたり、またみんなで盛り上がったことは何よりも楽しかったのではないのでしょうか。

僕は祖母をおとし亡くなりましたが、その分河野さんを祖母みたいに思っていました。ゆいのもりに来てたときは僕がもう車の免許取れたかとかいろいろな話をしたりしてにっこり笑ってくれた姿が何よりも印象深いです。

あとはスイカを一人で食べてたり、お菓子を一人で食べてたり、芋などを食べていて、水谷君も食べる？と言ってくれたので何よりもうれしかったです。

河野さんから見れば僕はぼっちゃんみたいに思ってたのかもしれませんが。

ときどきゆいのもりに来てゆっくりと歩く姿も何よりも好きでした。

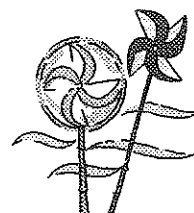
もう話もできず、姿も見れないのは本当に残念でたまりません。

仏様になった河野さんはきっと僕のことも見守ってくれていると思います。

何か僕にとって困ったことがあれば解決してくれる方法もあの世で応援してくださいね。

本当に残念ですけど、安らかにねむりください。さようなら。

T・M



故 河野トミ子さんを偲んで

つい4・5日前まで食工房ゆいのもりで元気な姿で会ったばかりなのに急に心臓発作で亡く
なられて驚いて言葉もありませんでした。一緒に旅行に出かけたことや、かんぴょう巻きが
大好物だったことなど思い出します。一人で十年間も暮らしておられ、さぞ寂しいこともあ
ったと思います。でもいつも私達のアイドル的存在でした。私達の心の中にいつまでも河野
さんのことは忘れられぬことと思います。天国からどうぞ私達を見守ってください。ご冥福
をお祈りいたします。

K・N

～食工房でのボランティア体験～

食工房では看護実習生やホームヘルパー講習の実習など様々な外部の方々の体験参加を受け
入れています。パン作業をとおして精神障害者の方と触れあうことでみなさんのことも理解を
深めてもらい、また多くのことを学ぶ場として利用してもらっています。そんな中でも最近
は若い方々が自主的に作業所について体験を試みたいということで来てくださるケースもあ
ります。今回、高校生の古川さんがボランティアとしての体験が感想文になりました。

感想文

古川雅義

僕と食工房ゆいのもりとは長い関係があります。食工房ゆいのもりが始まって以来、朝食の
パンは毎日ゆいのもりのものでした。そしてそれは今日まで続いています。幼児期、僕は食工
房ゆいのもりの近くの昭島幼稚園で嶋田さんと旦那さんと知り合い、ゆいのもりのことを知り
ました。

この夏、ボランティアをしてみてシャドウワークやパンを作ったり掃除をしたり、パンの配
送やゴミ焼却場に行ったりしました。

パンを作ってみて自分がいつも食べているパンはこうやってできるのかあと感動しました。
パン生地をぬくのは最初は難しかったけれどもやってみるうちに楽になっていきました。

パンはとても簡単に作れると思っていたのですが、とても手間がかかっているんだなあと思
いました。

この夏ボランティア活動をしてきて将来の自分に必要な材料ができたなあと思っています。
またこのような体験をやってみて、自分自身を作っていくたいと思っています。

最後に作業所のみなさま、スタッフのみなさま本当にありがとうございました。これからも
よろしくお願いします。

そして、僕の文を読んでくださっている方々、読んでいただきありがとうございます。

ザ・サードゆいのもり企画 メンバー・アンケート

「メンバーの声をいっぱい聴いてもらいたい!」…とはいっても、紙面のキャパはないし、メンバーにも負担をかけたくない…。そこでひらめいたのがアンケートでの取材でした。フタをあけてみると、みんなかなりマジ。なかには「ウチでじっくり書いてきたい」というメンバーもいて、「ならばしっかりアドポケット(代弁)を…」と、そんなプレッシャーにひしがれながら、まとめてみました。アンケートの協力者は総勢14名。さあ、ボリュームをあげて、メンバーの声を聴きとってください!

Q1. ザ・サードゆいのもりは、今年、Aランクの作業所となり、それにともない、常勤職員がもう1名加わり、合計3名となりました。そのことによって「ここが変わった!」という点がありましたら教えてください。

[声] このQ1の回答総数11のうち、ゆとりができたことが業務内容の拡大化・充実化につながっている、とみている見解が5票ありました。職員増員により好影響をもたらしている、という方向の回答がじつに9名にもものぼったことはなによりでした。具体的には、「細かいことにも目がいきとどくようになった」「明るく楽しくなった」「会話のできる職員がふえた」などの意見がありました。

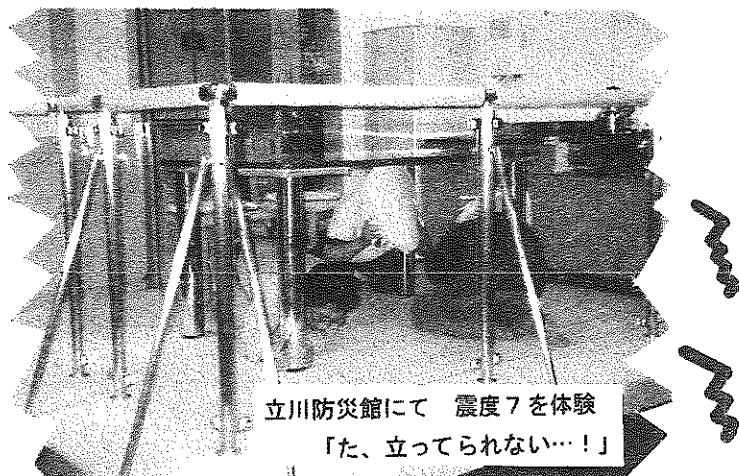
ただ、作業効率が向上したその裏返しなのか、「勤務時間が短くなり残念」といった、これからの課題をするどくついた回答もありました。

Q2. ザ・サードや喫茶森で仕事をして、「学んだこと」や「身につけたこと」「自分のために役立ったこと」…などがありましたら教えてください。

[声] 「一般の仕事にくらべ、ホッとするとところがあると思う」。なにかしらの精神疾患をかかえたメンバーたち。これは、そんな作業所ならではの、ごく率直な回答ではないでしょうか。それゆえ「仲間と協力しながらお互い思い合って仕事をこなすこと」という回答のような結束力もうみだされるのでしょう。

ほかには、「働く喜びをおぼえた」「対人関係がスムーズに受け入れられるようになった」「人のやさしさ、人へのやさしさ」など。

また、喫茶にまつわる仕事をしているため、料理にちなんだ知識や技術を習得できた、という主旨の回答も3票ありました。



立川防災館にて 震度7を体験

「た、立ってられない…!」

Q3. たとえば、みなさんの友人やご家族が「喫茶森」にいらっしやるとしたら、どんなところをみてもらいたいですか? どんなところをセールスポイントとしてアピールしたいですか?

[声] 「障害をもった人でも懸命に努力しているところ」という回答に代表されるように(同様の回答が3票)、メンバーにとっても職員にとっても、これだけはゆずれないプライドであるはず。さらに、「お客様へのサービス」や「接客がよいところ」といった意見がありましたが、メンバーの礼儀正しさをミスしたときに反省する姿勢などには、心がこもってるなあ…と実感することがしばしばです。

ほかには、店内をみてほしい、という内容が3票、ランチやケーキについてが3票、[チームワーク]が2票でした。ところで、「てれくさくて見に来てほしくない」という回答もありましたが、これがじつはホンネでしょうか?

5月	6月	7月	8月	9月	10月
新職員(常勤)渡邊司さん入職 看護専門学校卒業生入札(全7回実施) 幹福社会(ヘルパー実習生入札(全2回実施)) ケーキバイキング、60名来店 健康診断(以後3回実施) わくわく福祉コンサートにて出店 ザ・モールみずほ16「スタバでお茶しよう」	消費生活展(昭島市役所)に参加 初夏一泊旅行 伊豆・熱川 Kさん(男性、あきる野市)入所 立川防災館で防災訓練	Kさん(女性、青梅市)入所 Yさん(男性、昭島市)入所 Kさん(女性、昭島市)入所 デバ地下探訪(立川駅周辺) Tさん(女性、昭島市)入所	ケーキバイキング、27名来店 浅草・かつば橋下町散策 暑気払い カラオケ&福生七夕祭り 瑞穂ひまわりアーティスト展見学	Iさん(女性、昭島市)入所 多摩地区交流ハレールホール大会 ソフトクリームの販売開始 渋谷・原宿街歩き 日帰り旅行 ぶどう狩り 「あいぼつくまつり」にて出店	レーナ・マリアアゴスベルコンサートにて出店 ザ・サード・バンド結成 行事一尾酒席へ行こう!パート2 みんなのバザーにて出店 いも煮会 ソフトボール交流試合(vs秋川虹の家)

※ ビデオ上映会、食事づくりを数回実施。メンバーミーティングは定例化。

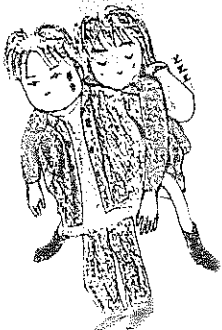
Q4. もしも、いま政治家になったとしたら、どんなことを実現したいですか？ どのようなことを国民に訴えていきたいですか？

【声】注目していただきたいのは、この質問では、たとえば「障害者の立場で…」などとはなんの前置きもしていません。しかしながら、回答の7/10は、精神障害や差別・偏見について言及したものでした。当事者意識というのでしょうか、やはりそうしたテーマが関心のマトであり、日頃からイラダチやクヤシサを鬱積させているまぎれもない証拠であるといえるでしょう。

具体的には、**障害者雇用の促進**についてが3票、**差別や偏見をなくすこと**についてが3票でした。ほかには、「**精神障害者から選挙権を取りあげること**はぜひにやめてほしい」「**作業所から社会への次のステップになることを実現してみたい**」などの、のきなみ気持ちのこもった主張がつけました。

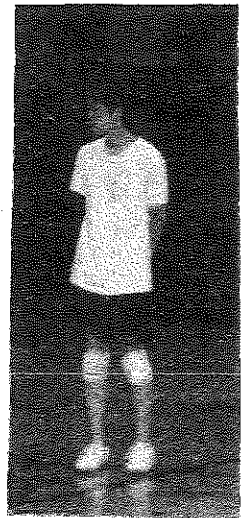
シビアな回答ですが、「**精神障害者の社会的向上は政治家じゃ無理でしょう**」というのがありました。たしかに政治家にまかせているだけではダメでしょう。われわれ作業所職員やメンバーもできるだけアイデアをふりしぼって、積極的に地域社会のなかで地域住民や政治家らにより刺戟をあたえられるような諸活動にいそんでいかねばいけません。今回のアンケートにおけるいちばんの成果は、そんなことをあらためて再確認させてくれたことなかなれません。

メンバーのみなさん、ご協力どうもありがとうございました。



新職員紹介

名前 ➡ 渡邊直司
(わたなべなおし)
趣味 ➡ お笑い、ギター
球技、映画、純文学
クセ ➡ 発言後すぐに
「あはは」とはにかむ
家賃 ➡ 29,000円
(昆虫類と同居)



「あのう…職員さんはいらっしゃいますか？」

「えーと…僕ですけど…」

どうもメンバーとのおしゃべりがすぎるせいか、こんなやりとりがすでに何度か。でもこの仕事のいいところは、ただそうやって私語してるだけなのに、叱られるどころか、ハタからみるぶんには「相談援助」とか

「コミュニケーション」「意図的な感情表出」「共感」「傾聴」「受容」…といったいわゆる「心のケア」をしっかりやってる職員だなあ、といったふうにタナボタにカン違いしてもらえることです。

行事やレクでは、つついひじけてしまうし、「オイシイ！」とばかりにヨゴレ役をひきうけては後悔ばかりしています。でもまあ、そんな自分でも、いや、そんな自分だからこそ、メンバーをハシヤギやすくするカンフル剤となれるし、微笑んでもらうことで胸のつかえみたいなものをスーっとさせる清涼剤となれるハズ！…なんてのが一縷(いちる)の希望的観測なのですが…

メンバーならびに職員からは、ロリコン説やホモ説、隠し子疑惑などをでっちあげられ、からかわれてばかりいますが、それでも裁判所に出向かないのは、みんなの表情や声のトーンにぬくもりがたっぷりとあるからです。みんなとはいつまでもアホなことをぶっちゃけられる関係でいたいものです。(渡邊直司)

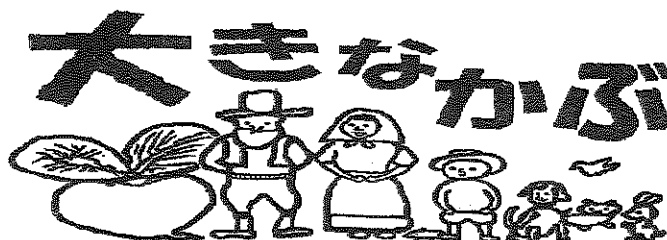
02年		01年	
1月	2月	1月	2月
新年会	0さん(男性、青梅市)入所 バレンタインケーキ販売	1泊旅行 奥羽温泉 Sさん(女性、昭島市)入所 忘年会 フレッシユランド西多摩	Tさん(女性、あきる野市)入所 Hさん(女性、昭島市)入所 ケーキバイキング、68名来店
Nさん(男性、武蔵村山市)入所 Tさん(女性、青梅市)入所 ディープロレスト(八王子市)見学	Sさん、Mさん、グループ就労面接 行事(居酒屋へ行く)	ゆいのもり総会 喫茶見学(銀座第3トリニエ) 三多摩演劇を見る会にて出店	
いちご狩り Kさん(女性、昭島市)入所 非常勤職員 黒崎さん退職 湘南・鎌倉旅行 かまくらフランス見学	Sさん(男性、昭島市)入所 Iさん(男性、昭島市)入所 Sさん(女性、昭島市)入所		
Sさん(女性、国分寺市)入所 お花見(昭和記念公園) 航空電子体育館にてスポーツ(以後2回実施) グリーンフェスティバル(昭和記念公園)			

ザ・サードと喫茶森の1年

地域の中でお互いに助け、助けられる関係を

NPO法人 大きなかぶ

～精神障害者ホームヘルプについて～



「老いても障害を持っても住みなれた昭島で暮らせるように、お互いに助けられる関係を地域の中に広げたい!」という思いで8年前に「大きなかぶ」を立ち上げ、3年前にNPO法人格を取得しました。ノーマライゼーションのまちづくりのためにいろいろな活動を行ってきました、その一つがホームヘルプサービスです。

<遅れてる!昭島市>

皆さん「ホームヘルプサービス」をご存知ですか。地域での自立生活を支えるサービスの一つです。介護保険の高齢者だけでなく、身体障害者や知的障害者の方々にもすでに公的なホームヘルプの制度があります。そして来年度は「支援費制度」といって今まで「措置」で行われていたものが権利として自分でサービスを選べるようになるのです。

それでは精神障害者の方々はどうでしょうか。今年、平成14年4月から「精神障害者居宅生活支援事業」が各市町村で開始されることになっていて、ホームヘルプはこの事業の中の一つです。昭島市では非常に残念ですが精神障害者の方々のホームヘルプはまだ始まっておりません。お隣の立川市や武蔵村山市ではすでに開始されているので、お友達でホームヘルプを利用している方がいらっしゃるかもしれませんね。



<ご本人と一緒に考えるホームヘルプ>

具体的にホームヘルプはどんなことをするのでしょうか。ご本人に代わって、あるいはご本人と一緒に食事を作ったり、部屋を掃除したり、買い物に行ったり洗濯をしたりといったことを行います。自立した生活を送っていくために何に困られているのか、どんなサポートが必要なのか、いつ頃なのか、何時間必要なのか、ご本人と一緒に考え、ご本人に決めていただきます。すべてお任せというわけではありませんし、一人一人どんなサポートが必要なのかもまた違います。

<力を合わせて!>

精神障害をお持ちの方々の「生活のしづらさ」がようやく理解され、公の施策として市町村でホームヘルプが開始できるようになりました。昭島市でも早く始まると良いですね、私達も皆さんと共に声を出していきたいと思っています。

■■■■■■ 編集後記 ■■■■■■

まちがいがしです。つぎの選択肢には1つだけまちがいがあります。選んでみてください。①「ゆいのもり福祉協会」はNPO法人である ②「ゆいのもり」はおもしろい! ③「ゆいのもり」は元気! ④「ゆいのもり」はやさしい! …この通信読後の感想、それが正解をみちびいてくれるはず。まちがいはあくまで1つですよ!(704)

